

済生会小樽病院看護部キャリア開発ラダー評価表兼認定証 (レベルⅡ)

承認者 課長	認定者 次長

A できている
B 時々できている
C ほとんどできていない

所属 () 氏名 ()

レベル毎に求められる役割		チームメンバーの役割と責任を理解し行動する		評価者	
レベル毎の定義		標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する			
カテゴリー		評価内容		自己評価	主任評価
看護実践能力	レベル毎の目標	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる			
	ニーズをとらえる力	1	自立して入院時から診療記録上の情報を確認し、患者の訴えや観察をもとに身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集をすることができる	A B C	A B C
		2	診療記録など決められた枠組みに沿った内容について、多職種から情報収集を行うことができる	A B C	A B C
		3	自立して患者と関わり、情報収集をもとに、顕在化している身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面を関連づけて患者の課題をとらえることができる	A B C	A B C
		4	患者の状態に合わせて正常か異常かがわかる	A B C	A B C
	レベル毎の目標	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する			
	ケアする力	1	患者の既往歴、年齢、性別、社会的役割等を考慮して、標準的な看護計画を把握し、自立してケアを実践することができる(必要時、看護計画の追加・変更ができる)	A B C	A B C
		2	重症患者や医療依存度の高い患者に対して、自立してケアを実践することができる	A B C	A B C
		3	患者に対してケアを実践する際に必要な情報を得て、状況に応じた援助を実践することができる	A B C	A B C
		4	観察して患者の状態を把握し、必要に応じて時間調整や疼痛コントロールなどを実践してからケアを行うことができる	A B C	A B C
		5	患者に対して指導をする場合、一般的な内容について、網羅して説明することができる	A B C	A B C
		6	急変時には、指示されたケアを責任をもって実践できる	A B C	A B C
	レベル毎の目標	関係者と情報共有ができる			
	協働する力	1	患者に関わる多職種の役割を理解し、必要に応じて多職種の協力の必要性に気づくことができる	A B C	A B C
		2	患者の疾患の現状、検査結果、治療方針を担当医と確認し、患者の訴えや受け止めている思いを医師に伝え、看護チームに情報共有し、看護の方針を確認できる	A B C	A B C
		3	カンファレンスに参加し、積極的に発言することで、患者の思いや希望等の必要な情報を関係者と共有することができる	A B C	A B C
	レベル毎の目標	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる			
	意思決定を支える力	1	患者と家族(または患者を取り巻く人々)から希望を聞いた際には、その希望の背景や理由についても確認することができる	A B C	A B C
		2	患者や家族(または患者を取り巻く人々)の思いや考え、希望をケアに関連づけ、ケアに反映させることができる	A B C	A B C
		3	説明に対する患者や家族(または患者を取り巻く人々)の認識と医療者の認識とのずれに気づき、追加の説明等調整することができる	A B C	A B C
4		助言を受けながら倫理綱領と実践を結び付けて考え、倫理的行動がとれる	A B C	A B C	
マネジメント能力	レベル毎の目標	マニュアルを理解し安全に業務を遂行できる			
	安全管理	1	医療安全・院内感染防止策のマニュアルを理解し行動できる	A B C	A B C
		2	医療安全・院内感染防止策を実施し、ケアの受け手や周囲の人々に説明できる	A B C	A B C
		3	自己のインシデントを振り返ることができる	A B C	A B C
		4	緊急・災害発生時に指示を受けて行動できる	A B C	A B C
	レベル毎の目標	看護の経済的評価を理解し行動できる			
	経営参画 (質の評価と業務改善)	1	看護業務に必要な物品を把握し、使いやすいように整えることができる(5S活動を意識して行動できる)	A B C	A B C
		2	所属部署の物品管理を理解し行動できる	A B C	A B C
		3	コストを意識し無駄のないように行動できる	A B C	A B C
		4	看護業務に必要な物品を把握し、使いやすいように整えることができる	A B C	A B C
	レベル毎の目標	優先順位を考え、経済的・効率的な業務の時間管理ができる			
	時間管理	1	業務の優先度を考え一日の行動計画を立てることができ、効果的・効率的に業務を行い、時間内に終了できる(日常業務を時間内に終了できるように)	A B C	A B C
		2	計画外の業務に対し、効果的・効率的に業務を行うことができる	A B C	A B C
	レベル毎の目標	医療情報システムを理解し安全に活用できる			
情報管理	1	医療情報システムの運用上の注意点を理解し、安全に活用できる(オーダーリング、電子カルテ、部門システムなど)	A B C	A B C	
教育・研究能力	レベル毎の目標	自己の学習課題を明確にして自主的に学習できる			
	教育・研究	1	自己の課題に対し、必要な院内外の研修や勉強会に主体的に参加できる	A B C	A B C
		2	不足している知識や技術を補足・強化する学習ができる(専門誌などから新しい情報を得ることができる e-ラーニングも含む)	A B C	A B C
		3	後輩からの質問、相談などに対し、学習支援ができる(学生を含む)	A B C	A B C
		4	受け持ち患者のケースから自身の関わりを振り返ることができる	A B C	A B C
組織的役割遂行能力	レベル毎の目標	社会人、専門職業人としての責任、協調性を持ち行動できる			
	組織的役割遂行	1	社会人・専門職業人として自分の立場と役割を自覚できる	A B C	A B C
		2	地域の現状に関心を持つことができる	A B C	A B C
		3	自施設(病院・看護部)の目標がわかる	A B C	A B C
評価日:	年	月	日		